



市民一人ひとりが主役のまちづくり “市民自治つる21”を目指して

今、わが国は、少子・高齢社会や、グローバル化、IT革命、環境問題、経済成長の鈍化などにより、人類史的ともいえる変革の時代を迎えております。

このような時代のまちづくりには、今を分かち合う、人と人、また、人と自然の共生を可能にする視点、さらに、世代を超えた持続的な繋がりを可能にする視点からの複合的な取り組みが不可欠であると考えております。

本市では、現在、「個性輝く創造社会」、「持続可能な定常社会」、「互恵・共生社会」を目指すべき地域社会像として掲げ、地方分権時代に的確に対応した、都留市第3次行政財政改革大綱並びに、実施計画を定め、効率的で効果的な行政経営に努めると共に、市民と行政がそれぞれの責任を果たしつつ、パートナーシップによる市民協働型のまちづくりの確立に努めております。

本年、この目指すべき地域社会像を具現化するための基本方針となる、新長期総合計画を策定し、地方分権時代にふさわしい個性的で自律的な連帯感あふれる住むことに矜持と愛情の持てる地域社会の実現に向けて、全力を挙げて取り組んでまいります。

目指すべき地域社会像

◎個性輝く創造社会

地域の持つ独自性の強い価値を見いだし、その価値を
発展させながら、他の地域のマネでない、創造力を発揮
した「オンリーワン」を指向するまちづくりに挑戦する
ものであり、厳しい経済環境の中にあっても、誰にでも
チャンスが平等に与えられ、人々の自立を後押しし、住
むことに誇りと、自信が持てる個性的で魅力的な地域社
会を目指します。

平成十七年の年頭にあたり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。新しい年が市民の皆様にとって、夢と希望に満ちたすばらしい年となりませう。心から願うものです。

市制施行五十周年を迎えた昨年の十一月、田原地区画整理事業が完成し、都留文科大・学前駅を中心とした、賑わいと活力あふれる都市拠点が形成され、新たなまちづくりがスタートしました。また、長年の念願でありました、中央自動車道都留フルインターの建設も本格化しており、本年が都留市にとって、さらなる発展と飛躍のたのめ、市民の皆様と手を携え、全力で市政経営に取り組みでまいります。

今後、心身の豊かさや、民が物と心を豊かに、たおやかな時を実感で生きる、心身共に健康で暮らせる都留市の実現に努めてまいりませう。市民の皆様には、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

◎持続可能な定常社会

少子・高齢社会の到来、さらには、化石燃料の枯渇や地球温暖化問題など資源や自然環境の有限性が叫ばれる中、経済活動と環境保全を両立させ、人と環境が持続的に共生していく、安全で安定した定常的な地域社会を目指します。

◎互恵・共生社会

すべての人々が、いかなるライフステージにおいても、自己実現を図る努力を重ねながら、その身に付けた個性と能力を生かして、様々な立場や違いを超え、共に認め合い、助け合い、支え合うことにより、生きがいや働きがいを持って、共に生きていくことが可能な地域社会を目指します。

地方分権時代を迎え、限られた財源を最大限に生かし、政策課題に積極的に対応するため、重点施策を策定し、市政経営に当たっておりますが、平成17年度は次の8項目を定めその推進に努めることとしております。

- ◎はつらつ鶴寿のまち推進
- ◎エンゼルプランの推進
- ◎教育首都の推進
- ◎ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりの推進
- ◎地域経済活性化の推進
- ◎持続可能な循環型社会の推進
- ◎協働のまちづくりの推進
- ◎地方分権時代に対応した行財政経営の推進

完成した都留文科大学前駅



まちづくり行動計画



人・まち・自然にやさしいグリーン・アクションつる (環境にやさしいまちづくり)
人・まち・自然にふれあいケア・アクションつる (福祉のまちづくり)
人・まち・自然がいいきいウェルネス・アクションつる (健康のまちづくり)
人・まち・自然が元気メイク・アクションつる (産業のまちづくり)
人・まち・自然にやさしいライフ・アクションつる (まなびのまちづくり)

市民自治つる21推進体系

